

## 昔と変わらない大切なこと

先日、郡 PTA 連合会の運営研究大会が湯梨浜町でありました。羽合小学校が担当校だったため、たくさんの PTA の方にお世話になり、無事運営を行うことができました。講演会では、湯梨浜町に住んでおられる鳥取看護大学・鳥取短期大学の理事長、山田修平先生の講演を聴きました。山田修平先生が、明治時代の哲学者である森信三先生について話をされていました。

この先生は教育についても多くのことを語られています。「教育とは流水に文字を書くようなはかない業である。だがそれを巖壁に刻むような真剣さで取り組まねばならない。」

これは私の座右の銘と言ってもいい言葉です。こうした先人の含蓄のある言葉は、教育の世界に身を置く自分にとって自然と襟を正す気持ちにさせてくれますし、今の自分の有り様を見つめ直させてくれる機会ともなります。

講演の中で、森先生のことばを引用して家庭のしつけについてお話されました。

しつけの三大原則は次の3つ。

1. 朝のあいさつをする子に
2. 「ハイ」とはっきり返事のできる子に
3. 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いたら必ずそろえる子に

また家庭教育の3機能として、しつけの他に愛情とモデルであると話されました。いつも子どもに寄り添い決して子どもを比較しないこと、よいところを見つけてほめて伸ばすこと、口で言うだけではなく親がまずモデルを示すことが大切と話されていました。

4月から、できるだけ毎日玄関で子どもたちを迎えています。子どもたちから元気のよいあいさつがたくさん返ってくるようになり、うれしい気持ちになります。「はきものはそろえるだよー」いつの時代も大切なことは変わらない、そんなことを考えながら朝の玄関に立っています。



## インフルエンザが流行の兆し

羽合小学校に少しずつではありますが、インフルエンザにかかる子どもたちが増えてきました。中部管内の学校では学級閉鎖をしている小、中学校もあるようで、今後の広がりが心配です。しかし、2学期も残すところ1週間となっており、このまま何とか乗り切りたいと考えています。先日、そして昨日とまちコミメールでインフルエンザの様子をお知らせしました。随時状況に応じて学校の様子をお知らせします。

インフルエンザは飛沫（飛沫は2メートル飛び散ります）によって感染します。学級や学年の感染状況によっては、学校でもマスクをさせたいと思いますので、予備を持たせるなどマスクの準備をお願いします。